

2023年10月5日

社会福祉法人武蔵野会 / 一般社団法人ぼくみん



GOOD DESIGN AWARD 2023

「ふくしデザインゼミ」がグッドデザイン賞を受賞

社会福祉法人武蔵野会（本部：東京都八王子市、代表：高橋信夫）と一般社団法人ぼくみん（本社：京都府京都市、代表：今津新之助）との協働プロジェクト「ふくしデザインゼミ」が公益財団法人日本デザイン振興会主催「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。



審査委員の評価コメント

学生と福祉従事者が協働し、書籍の制作や展覧会を開催した取り組み。支援する／される、教える／学ぶという関係を越え、学び合える関係や場をデザインしている。その中心にあるのは、「福祉」を「ふくし（ふだんのくらしのしあわせ）」へとアップデートするという信念だ。「採用のあり方を変えたい」という出発点から始まったこの取り組みは、全てにおいて誰にもひらかれた場としての双方向性を意識した秀逸なデザインによって、採用する／されるから、「仲間さがし」へとアップデートされた。

受賞対象の概要

ふくしデザインゼミは、分野や領域の垣根を越え、実践的に福祉を学ぶプログラムで、2022年8月に、社会福祉法人武蔵野会とSOCIAL WORKERS LAB（一般社団法人ぼくみんが企画運営する、2019年スタートの福祉の裾野を広げ、「ふくしの関係人口を増やす」プロジェクト）の協働でスタートしました。

参加者は8カ月間にわたって、社会福祉法人武蔵野会が運営する施設をめぐり、職員との対話『ふくしに関わる人図鑑』の制作、展示イベントの企画・運営などに関わります。プログラム開始時にはまだ福祉の「外側」にいた参加者たちは、取材を通じて福祉の現実に触れながらも、さらに外側にいる人たちに自分たちの学びを伝えようとする

ことで、いつの間にか福祉の「内側」に立つことになり、福祉事業がもつ根源的な力を発見していきました。私たちが大事にしたのは、学生たちの学びの場をつくるだけでなく、その学びを可能な限りオープンにし、法人の内側にも外側にも参加者の学びをシェアしていくこと。学びの連鎖をつくることで、「福祉」は、よりオープンで開放的な「ふくし」にひらかれていくと考えました。

受賞対象の詳細

プログラムの開催期間は8ヶ月。取材する対象は武蔵野会の外部に広がり、参加者が取り組む課題も、取材や執筆から編集・デザインの領域に広がりました。

8月



事前インタビュー

プログラムの本番に入る前に、武蔵野会本部の職員にインタビューを実施。学生たちが制作することになる書籍「ふくしに関わる人図鑑」の雛形となるものをつくりました。

12月



取材、取材、取材

取材先は1ヶ所だけではありません。学生たちは複数のグループに分かれて取材を重ねます。取材場所は本部のある八王子を離れ、遠く伊豆大島にも到達。取材記事の執筆も佳境に入っていきます。

9月



フィールドワーク

ふくしデザインゼミの初回はワークショップです。福祉やデザインを学ぶ学生など20名が参加。講師のトークを通じて、取材や編集、デザインの面白さや魅力を学びました。

1月



デザイン編集会議

取材した図鑑ページが出そろってきたところで、ページの全体のレイアウトの考案や、「相関図」の作成など、より魅力的な冊子にするプロセスに入ります。デザイナーとも対話を重ねていきました。

10月



初インタビュー

学生編集部の活動がスタート。講師やコーディネーターと武蔵野会の施設をめぐり、さまざまな人たちにインタビューしていきます。実際の福祉施設を訪れるのは初めて、という学生も多くいました。

2月



仕上げ・校了

何度も繰り返し確認をして校了。図鑑の入稿データが完成です。執筆から編集、校了まですべてのプロセスに関わることで、福祉を多面的に捉える視座を学びました。さあ、残すは印刷のみ！

11月



人図鑑の制作

取材内容をまとめ、それぞれの「ふくしに関わる人図鑑」の制作に入ります。文章だけでなく、キャッチコピーや見出しも自分たちで考えていきます。その人らしさを表す言葉を探すプロセスです。

3月



展示の準備と開催

冊子の完成後に待っているのは、制作プロセスなどをまとめて紹介・展示する「企画展」の準備です。読者に届けるまでに関わることで、福祉をひらくプロセス全体に関わったことになります。

書籍「ふくしデザインゼミ — 武蔵野会に関わる人図鑑をつくろう」

8ヶ月にわたるプロジェクトの過程やその成果としての人図鑑、相関図などを収録したプロジェクトブックとして、2023年3月に『ふくしデザインゼミ 武蔵野会に関わる人図鑑をつくろう』（A5版76ページ）を発刊しました。書籍は、恵文社一乗寺店（京都）や百年（東京）、汽水空港（鳥取）など、全国の書店で取り扱っていただいています。



展覧会「ふくしデザインゼミ展」

2023年3月には、書籍の発刊にあわせて、武蔵野会が本部を置く八王子にて、学生たちが体験した「ふくしデザインゼミ」を体験できる展覧会を実施しました。会期中、トークや体験ツアーなどの関連企画も実施。6日間でのべ446名の来場を記録しました。



受賞対象の関連ページ

【グッドデザイン賞受賞ページ】

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/19817>

【その他関連ページ】

ふくしデザインゼミ note → https://note.com/fukushi_design

ふくしデザインゼミ Instagram → https://www.instagram.com/fukushi_design

社会福祉法人武蔵野会 公式サイト → <https://musashinokai.jp>

SOCIAL WORKERS LAB 公式サイト → <https://swlab.jp>



受賞企業の一覧

【プロデューサー】 社会福祉法人武蔵野会 高橋信夫 / SOCIAL WORKERS LAB 今津 新之助

【ディレクター】 designと 田中 悠介 / ヘキレキ舎 小松 理虔

【デザイナー】 designと 田中 悠介



社会福祉法人武蔵野会

社会福祉法人武蔵野会

武蔵野会は、「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」を理念に掲げ、東京都八王子市を中心に、東京都・静岡県で26の拠点施設と100を超える事業を運営しています。

代表者 : 理事長 高橋信夫

本部所在地 : 東京都八王子市旭町12-4 日本生命八王子ビル 2階 201

設立 : 1963年6月



一般社団法人ぼくみん

2019年に、福祉の関係人口を増やす「SOCIAL WORKERS LAB」というプロジェクトとしてスタートし、さらなる領域や分野を越えた協働を目指して23年4月に法人化しました。

代表者 : 代表理事 今津新之助

本部所在地 : 京都府京都市北区紫野北舟岡町42 船岡山公園管理事務所内

設立 : 2023年4月

お問い合わせ先

一般社団法人ぼくみん（担当：大澤）

Mail → fdc@musashinokai.jp